



## 長洲町職員組合

### 自治労連加入記念レセプション

#### が開催されました

長洲町職員組合の自治労連加入記念レセプションが、9月29日に熊本県荒尾市のホテルヴルデェで開催されました。

岸川中央執行委員長をはじめ、兼武副中央執行委員長、濱村副中央執行委員長、松葉書記長他、多くの中央執行委員が参加したレセプションには、友誼単組の代表者の方や、来賓の方々も多数出席し、長洲町職員組合鈴木委員長の挨拶により盛大に開催されました。



挨拶する 鈴木委員長

#### 【長洲町職員組合鈴木委員長挨拶】

本日は、長洲町職員組合自治労連加入記念レセプションへ、ご多忙の所多数の皆様にご出席賜りまして誠に御礼申し上げます。

思い起こせば、2年前に執行委員長に選出され上部団体加入という大役を受けましたが、正直1年目は自分の力量不足から、加入の推進が進まず、皆様には大変ご迷惑をおかけしたと思われまふ。

2年目に、このままでは何もやっていないことと同じと思い、執行委員長へ立候補し選出され、皆様の協力のもと加入に向けて進んでいきました。そして、説明会や加入の賛

否の投票を行い、ようやく、平成24年7月の加入のめどが立ちました。

3年目となる今年、加入を最後までやり遂げる一歩で立候補し選出され、加入に向けて最後の段階となっております。

職員団体登録の遅れから、当初予定しておりました7月からの加入が今月9月まで遅れまして、皆様に迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

しかしながら、9月によりやく職員団体の登録となり、晴れて、自治労連への正式な加入となります。本当にありがとうございます。

また、ここに至るまでに、関わった執行役員の皆様に関しましては、通常の年間計画に加え、自治労連加入という大きな目標のなか、夜遅くまで執行役員会を行い協議を重ね、本当に苦労されたと思っております。この場をかりてお礼申し上げます。本当にご苦労様でした。

長洲町職員組合は規約施行日を確認すると、昭和40年7月10日となっており、40年以上の長い歴史を持つ団体であります。

その歴史のなかでこのよう転換期を迎え、感慨深いものがあります。



自治労連加入の証 交付の様子

す。しかし、加入となったこれからが、大事であり、職員の色々な問題に対し今まで以上に対処していかなくてはなりません。正直一人ではなにもできません、他の単組の皆様や執行役員そしてなにより、組合員の皆様の協力があったこそ、今までの長洲町職員のこれからもよろしくお願いいたします。

重ねて申しが得ますが、厳しい社会情勢の中でも、皆様の暖かいご支援やご協力により長洲町職員組合は存続することができ、お陰様で自治労連への加入を迎えることができました。本当にありがとうございます。

今後とも、執行役員一同、一層の努力をし、皆様の職場環境の改善や要望にお答えしていく所存でございますので、皆様の変わらぬご支援やご協力をいただけますようお願い申し上げます。



2012年

# 地方公務員賃金闘争交流集會を開催

公務員連絡会・地公部会は10月4日、今秋季確定闘争の課題と取組みについて共通認識をはかることを目的に、2012地方公務員賃金闘争交流集會を開催しました。

東京・全電通労働会館ホールで行われた交流集會には、全国から4000人が参加し、自治労連からは、関谷副中央執行委員長が参加しました。



地方公務員賃金闘争交流集會の様子  
(中央奥が関谷副中央執行委員長)

冒頭、加藤副議長が主催者挨拶に立ち、自律的労使関係制度の実現について「連合の中央委員会に出席した野田総理は、『国家公務員制度改革関連四法案については次期国会での早期成立、地方公務員制度改革法案については次期国会への提出に向けて努力する』と決意表明しました。また、地方公務員だけ人勸制度が残るといようなことはあってはならず、四法案の実現を図らねばならない」と決意を述べるとともに、「働く者の権利と生活を守らずして

日本の社会はあり得ず、質の高い公共サービスの確立はあり得ない」と訴えました。次に、棚村公務員連絡会議長は「第180回通常国会で国家公務員制度改革関連四法案を内閣委員会で審議入りはさせたものの、成立をさせられなかったこと、地公における制度改正も確かなものにする

ことができなかったことは痛恨の極みであり、極めて遺憾だ。この要因は政治の責任が大きく、今の民主党の中で国公及び地公の自律的労使関係制度の達成をしなればならない」と決意を述べました。

雇用と年金の接続の問題についても、「政府は、再任用義務化を提案してきたが、われわれとしては段階的な定年延長がふさわしいという考え方は変えておらず、これを基軸として現在も交渉を続けていく。組合員の利益を代表して奮闘したい」と挨拶しました。

続いて、民主党政調会長を務める細野豪志衆議院議員から国会情勢について報告され、地方公務員の自律的労使関係制度の法案の閣議決定の見通しについて、「5月11日に総務省より地方公務員制度改革に関する素案が示されている。党としてもこれまで公務労協をはじめとする関係団体の皆さん、また地方六団体なども議論を進めてきたし、現在は総務省に『地方公務員の自律的労使関係制度に関する会議』を設置し検討を進めている。国公関連四法案は審議入りはしたものの、地公については関係法案の提出に至らず大変遺憾であるが、党としては地公法案について次期国会に提出できるよう政府にも働きかけ、努力していきたい」と決意を述べました。

また、国家公務員の給与減額を受けた義務教育費国庫負担金、地方交付税への影響遮断については、「党としては国と同様の給与削減を強要するようなことは考えていない」と明言し、さらに、臨時・非常勤職員の雇用安定や処遇改善に関わる法整備については、「臨時・非常勤職員数は増加しており、重要な役割を担っていたいただいてもいかかわらず、手当がなされていないことについて深刻な問題と受け止めている。今後も、課題の重要性を認識しながら対応していきたい」と述べました。



国会情勢報告をする細野民主党政調会長

その後、藤川地公部会事務局局長が基調報告を行い、地方公務員の賃金等をめぐる諸情勢を報告した上で、2012秋季闘争の取組みが提起され、2012秋季闘争では、①地方公務員の自律的労使関係制度に関する法案の早期国会提出・成立、②国の臨時特例減額の影響遮断、③段階的定年延長、④退職手当制度の見直し、⑤臨時・非常勤職員の雇用安定・処遇改善に係る法整備などについて、確定交渉でしっかりと取り組むよう訴えました。

続いて、島澤論秋田大学非常勤講師より「地方公務員給与と地域経済」と題する講演があり、「日本経済及び世界経済の現状から、今後日本経済の成長率が低下していくことが予想され、民間給与が減少傾向にあるなかでは公務員給与を維持していくことが困難である」と指摘すると同時に、「公務員給与を引き下げることとは周知回って民間セクター自身の首を絞めることにもつながることから、こうした負のスパイラルを断ち切るべく取組みを強化すべき」と語られました。

その後各構成組織から、賃金独自削減に対する取組みや非常勤職員の処遇改善に向けた取組みなどについて報告し、秋季確定闘争を全力ですすめていく決意を表明しました。最後に、団結カンパニーで集會を締めくくりに、秋季確定闘争への決意を確認しました。



参加者全員で秋季確定闘争への決意を確認

# 自治労連ユース世代交流会を開催

平成24年度全国自治労連ユース世代単組間交流会が、10月5日（金）～10月6日（土）にかけて沖縄県うるま市のお隣、金武町にある「ネイチャー未来館」で開催されました。2週間に1度のペースで台風が沖縄本島にやってくる当たり年の中、その時だけは爽やかな風が心地よく感じるほどの好天に恵まれ、全国から52名（11単組）のユースのみなさんが南国の地で楽しく交流を深めました。



那覇空港から観光バスにて宿泊交流地へ向かう途中に、米軍基地内に入り、レストランや興遊場などを巡回する当初企画でしたが、MV22オスプレイ問題で立ち入れない状況にあり、普天間基地が見渡せる「嘉数展望台」と嘉手納基地が見渡せる「嘉手納道の駅」へと予定を変更。普段はニュースなどでしか見ることのできない両基地を目の当たりにし、そ

れぞれに何かを感じ取っていただけだと思います。



お疲れの様子があがった頃に「ネイチャー未来館」へ到着。ここから元気を振り絞って「マスコミが報道しない沖縄の真実」と題し拓殖大学日本文化研究所客員教授、惠隆ノ介（めぐみりゆうのすけ）氏の講演会を聴聞しました。

今年サンフランシスコ講話条約により日本が主権を回復してから60年、沖縄が祖国復帰して40年の節目にあたります。中国の尖閣諸島侵略問題、オスプレイ配備問題等が取りざたされるこの時期に、この地沖縄で、日頃マスコミが流す情報とは違う内容の話が聞けたと思います。真実はどこにあるか考える貴重な時間になりました。



ユース世代交流会 勉強会の様子

ここからは、お待ちかねのBBQ。10月とは言え、沖縄はまだまだ夏。夕暮れが絶妙な雰囲気を与えてくれる。そんな中、おいしい肉を食べ、沖縄の酒・泡盛を飲みながら、単組や都道府県の枠を超えての交流を深める事が出来たと思います。また、単組紹介ではいきなりの一発芸などが飛び出し、笑いが絶えない場と

なりました。今年、沖縄が本土復帰して40年という節目に当たり、また、中国の尖閣侵犯による領土問題や国防に対する関心が高まる中で開催されたユース世代単組間交流でした。



ユース世代交流会 懇親会の様子

反米・反基地一色と思われがちな沖縄県。一方で、惠先生の講演や偏った報道やニュースとは違う視点もあります。ユース組合員が様々な情報を吸収し、夢と希望のある明るい日本の再興のために労働組合がどうあるべきかを考え、今後の糧にして欲しいと願っています。

【うるま市役所労働組合 ユース部長 談】

懇親会で泡盛を酌み交わし、笑顔で交流する光景を見ると、受入れ単組としてはこれ以上の達成感はありません。

これからもユース世代交流会が、本部、開催地各単組のご努力の下に継続され、自治労連に集う同志の「繋がり」が一層深まりますように・・・また逢えるときを楽しみにしています。

## 友愛労働歴史館を見学

見学に先立ち、友愛労働歴史館の間宮悠紀雄氏より、「友愛労働歴史館と特別展『友愛から連合へ』」と題し、友愛設立時から連合へ移り変わった労働組合の歴史についてご講演いただきました。



勉強会の様子

平成24年9月28日、第4回の中央執行委員会が友愛会館で開催され、執行委員会前に友愛労働歴史館を執行部全員で見学しました。

友愛労働歴史館は本年8月1日にオープンしています。日本の労働に関する貴重な資料や書物がたくさん保管されていますので、お近くにお越しの際、お時間があられる時には、是非お立ち寄りください。

東京都港区芝2-20-12  
友愛会館8階

<http://www.yuairodor-ekishikan.jp/>



友愛労働歴史館見学の様子

## 第4回中央執行委員会

平成24年9月28日、第4回中央執行委員会を東京都港区の友愛会館で開催しました。



中央執行委員会の様子

中央執行委員会 議題

(報告事項)

①活動経過報告、各種会議報告

(協議事項)

①組織のあり方について

②平成24年度 代表者・書記長合同会議の開催について

③第6回ユース部全国代表者合同会議の開催について

④各専門部での活動協議

⑤各専門部での活動協議

## 第3回中央執行委員会 議事録

(報告事項)

①活動経過報告、各種会議報告

・書記長が活動日誌に基づいて報告。

・出席した会議について出席者より補足説明。

②その他について

(協議事項)

①人勸期の取組について

・書記長から人事院勧告の報告、説明。

②組織の在り方について

・書記長から「組織のあり方」に関するアンケート調査結果について報告。

・内容毎に単組の意見を確認。

③平成24年度 代表者・書記長合同会議の開催について

・友愛会のDVDを上映。組織のあり方について協議。

④第6回ユース部全国代表者会議の開催について

ユース対策から報告

⑤各専門部での活動協議

## 主な行事と今後の予定

自治労連中間監査

12月1日(土)

福岡県福岡市(天神NKビル)

自治労連第5回中央執行委員会

12月1日(土)

福岡県福岡市(天神NKビル)

福岡県福岡市(天神NKビル)